

13. 広島県除草剤使用基準を改訂（普通作関係）

1. 背景とねらい

除草剤・成長調整剤を適正に使用することは、作物生産の省力化・安定化を図るうえで極めて重要である。そこで、新しく開発・改良される薬剤について、農林水産省の登録認可に必要なデータを提供するとともに、登録後の県内における使用基準および現地指導の資料を作成するため、効果や作物に対する安全性を評価する適用性試験を行っている。この結果に基づき、関係機関と協議して、平成19年度普通作関係除草剤使用基準を改訂する。

2. 成果の内容

新規に採用した除草剤の中で特徴的な薬剤を次に示す。

- 1) 移植水稲用の一発剤では、スルホニルウレア系除草剤（SU）抵抗性雑草に効果の高い成分を含む剤を中心に採用した。中期剤では、高温時に薬害発生の恐れがあるシメトリンを含まないカービー1キロ粒剤を採用した。
- 2) 直播栽培用では、ミスターホームラン DL ジャンボをジャンボ剤としてはじめて採用した。また湛直の植代後～播種4日前までの使用時期では、はじめての剤となるサキドリ EW を採用した。
- 3) 水田畦畔用、休耕田用として、グリホサートを高含有量化し、除草効果を高めたラウンドアップマックスロードを採用した。
- 4) だいずでは、中耕培土後雑草発生前まで使用できる、トレファノサイド粒剤 2.5 を採用した。

3. 普及上の留意点

- 1) 薬剤の使用にあたっては「平成19年度広島県除草剤使用基準（農薬情報提供システム）」を参照する（<http://www.f-net.naka.hiroshima.jp/>）。なお平成18年11月末現在の登録内容であるため、最新の農薬登録内容等を確認する。
- 2) 直播用として採用したサキドリ EW は、薬害の恐れがあるため次の点に注意する。
 - ① 散布後は4日以上の間隔をあけて播種する。
 - ② 出芽時に湛水条件になると出芽抑制が生じるので、水管理に注意する。
 - ③ 表面散播では薬害が助長されるおそれがあるので使用しない。
 - ④ カルパー粉粒剤による種子粉衣を必ず行う。

（生産環境研究部）

4. 具体的データ

表1 新規に採用した移植水稻用除草剤（一発剤）の効果一覧

薬剤名	適 用 雑 草 名									表 藻 層 類 剥 ・ 離
	一年生雑草		多 年 生			雑 草				
	ノ ビ エ	広 葉	マ ツ バ イ	ホ タ ル イ	ウ リ カ ワ	ヤ ミ ツ ズ リ ガ	グ ク ワ ロ イ	セ リ	ム ヒ シ ル ロ	
クサカリテイオー 1キロ粒剤51※	○ 1.5葉 まで	○	○	○ 発生始 まで	○ 発生始 まで	○ 発生始 まで	○ 発生始 まで	○ 活着始 まで		○
サスケラジカル ジャンボ※	○ 2葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 活着始 まで	○ 発生期	○
クサトツタ1キロ粒剤※	○ 2葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 活着始 まで	○ 発生期	○
ホームランキングL ジャンボ※	○ 2葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 活着始 まで	○ 発生期	○
ミスターホームランDL ジャンボ※	○ 2葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 活着始 まで	○ 発生期	○
イッテツ1キロ粒剤※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 活着始 まで	○ 発生期	○
黒帯1キロ粒剤※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで		○ 2葉 まで				
黒帯フロアブル※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで		○ 2葉 まで				
オークスフロアブル※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 活着始 まで	○ 発生期	○
シロノックL ジャンボ※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 活着始 まで	○ 発生期	○
ダブルスターSB 1キロ粒剤51※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 活着始 まで	○ 発生期	○
シリウスターボ 1キロ粒剤※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 活着始 まで		○
シリウスターボ ジャンボ※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 活着始 まで	○ 発生期	○
キチット1キロ粒剤※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 活着始 まで	○ 発生期	○
テラガードL フロアブル※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 活着始 まで	○ 発生期	○
ピシット粒剤17	○ 3葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 活着始 まで	○ 発生期	

注) ※はSU抵抗性雑草対策成分を含む剤であることを示す。

表2 新規に採用した薬剤数

区 分	薬剤数
移植水稻用除草剤（一発剤）	16
移植水稻用除草剤（中期剤）	7
水稻直播用除草剤（湛水直播）	7
水稻直播用除草剤（乾田直播）	5
水田畦畔・休耕田・耕起前・刈跡除草剤	4
麦類・豆類（種実）・雑穀類除草剤	4